国土計画・地域計画

前年度より引き続きとられた強力な総需要抑制策により，ようやく物価は鎮静化してきたものの，世界経済の停滞による輸出不振，設備投資の沈滞等に加え，公共事業についても物価との関連で抑制され続けたために不況はいっそう長期化し，期待されたほどに景気の回復は見られなかった．こうした中にあって，国土資源，食糧，エネルギー等の有限性の認識，国民意識の変化などのもとで，新たな国土開発，地域開発の発想が求められ，三全総等の策定作業が進められたが，将来の見通しが困難なこともあって，まだ十分な成案を得るまでには至っていない．来年度予算編成においては，景気浮揚等として公共事業関係が3年ぶりに対前年度増に復活するなどの動きも出てきたが，総じて，50年度における国土計画・地域計画をめぐる動きは，前年度に引き続き，昏迷，沈滞期ともいえる時期に直面していた．

国土計画については，51～60年度を計画期間とする第三次全国総合開発計画（三全総）について，新全総の総点検8項目のうちの6項目の中間報告がなされるとともに，三全総の

名　称	データ
第三次全国総合開発計画の概案まとまる	計画期間：昭和51年度～60年度　昭和60年人口等予測値〔単位／万人，万世帯　（　）内／昭和45年値〕：① 総人口 12 431 (10 467)，② 65歳以上人口 1 153 (739)，③ 義務教育該当年令人口 1 874 (1 447)，④ 普通世帯数 3 741 (2 707)，⑤ 人口集中地区人口 8 440 (5 600)，⑥ 労働力人口 5 781 (5 332)
新経済5か年計画の概案まとまる	部門別投資額〔単位／億円，昭和50年度価格〕：① 道路 195 000，② 港湾 29 000，③ 航空 8 000，④ 公共賃貸住宅 65 000，⑤ 環境衛生 136 400，⑥ 厚生福祉 21 500，⑦ 学校 65 500，⑧ 国土保全 69 000，⑨ 農林漁業 69 900，⑩ 鉄道 80 000，⑪ 電気通信 73 000，⑫ その他 167 700，⑬ 調整額 20 000，⑭ 総額 1 000 000
本州四国連絡橋建設着工（大三島橋）〔② 愛媛県〕	事業実施箇所：大三島一伯方島間　事業主体：本州四国連絡橋公団　工事期間：昭和50年12月21日～
長岡ニュータウン開発整備基本計画を認可〔② 新潟県長岡市〕	事業主体：地域振興整備公団　工事期間：昭和50年度から15か年　事業予算：約870億円　土地利用：住宅用地 約250 ha，工業および商業・業務用地約 50 ha，公共施設用地等 約 200 ha，公園・緑地用地 約 500 ha，合計 約 1 000 ha
公共投資重視型予算案の復活	51年度公共事業費関係予算〔単位／百万円　（　）内／対前年度当初予算増△減〕：① 治山・治水対策 543 980 (93 450)，② 道路 1 095 848 (139 048)，③ 港湾・漁港・空港 281 589 (41 687)，④ 住宅対策 363 200 (68 570)，⑤ 生活環境施設 371 420 (88 267)，⑥ 農業基盤 437 300 (77 800)，⑦ 林道・工業用水等 90 335 (16 618)，⑧ 調整費等 10 930 (530)，⑨ 災害復旧等 332 646 (91 756)，⑩ 総額 3 527 248 (617 726)

道　路

昭和50年度は，昭和48年度を初年度として発足した第七次道路整備五か年計画（総投資規模 19兆 5 000 億円，内訳／一般道路事業9兆 3 400 億円，有料道路事業4兆 9 600 億円，地方単独事業4兆 7 000 億円，予備費 5 000 億円）の第3年度であるが，政府の総需要抑制方針堅持の政策のもとで，49年度に引続き前年度当初規模を下回るものとなった．そこで，総需要抑制の見地から大規模事業等については，進度の調整を図りつつ，地方道の整備，交通安全対策等，国民の日常生活と密接な関係のある事業については重点的にその整備を推進することとした．昭和50年度の重点施策は次のとおりである。① 第七次五か年計画の推進，② 道路環境保全対策の推進，③ 交通安全対策の推進，④ 一般国道および地方道の整備の推進，⑤ 国土開発幹線自動車道等の建設の推進，⑥ 有料道路制度による道路

名　称	データ
本州四国連絡橋〔① 本四架橋，② 神戸市一鳴門市・倉敷市一坂出市・尾道市一今治市，③ 4% 完成（昭和51年1月31日現在）〕	事業実施箇所：神戸市一鳴門市・倉敷市一坂出市・尾道市一今治市　事業主体：本州四国連絡橋公団　工事期間：昭和48年10月26日～　事業予算：2兆 100 億円
本州四国連絡橋大三島橋架設〔① 本四架橋大三島橋，② 愛媛県越智郡，③ 0% 完成（昭和51年1月31日現在）〕	事業実施箇所：自／愛媛県越智郡上浦町瀬戸・至／愛媛県越智郡伯方町熊口　事業主体：本州四国連絡橋公団　工事期間：昭和50年12月10日～54年3月31日　事業予算：62億円　施工業者名：（下部工）大本組／アイサワ工業 JV・（上部工）未定
高速自動車国道東北自動車道〔① 東北自動車道，② 福島県郡山市一宮城県白石市・宮城県仙台市一泉市，③ 100%完成（昭和50年11月30日現在）〕	事業実施箇所：福島県郡山市一宮城県白石市・宮城県仙台市一泉市　事業主体：日本道路公団　工事期間：昭和46年11月21日～51年11月30日　事業予算：889億円　延長：110.3 km（郡山一白石 82.5 km，仙台南一泉 27.8 km）　設計速度：郡山一白石 100 km/h，仙台南一泉 80 km/h　車線数：4車線　最小曲線半径：R=400 m　最急縦断勾配：5%　連絡・休憩施設箇所数：インターチェンジ6，サービスエリア2，パーキングエリア3　施工業者名：鹿島建設／佐藤工業 JV・間組／青木建設 JV・日本道路／常盤工業 JV ほか